



2016年3月期決算概要と業績予想

テルモ株式会社

常務執行役員 IR・広報室担当

北畠 一明

2016年5月10日

決算総括：大幅な増収増益を達成

(億円)

	14年度	15年度	増減率	為替除く 増減率
売上高	4,895	5,250	+7%	+5%
粗利益	2,561 (52.3%)	2,849 (54.3%)	+11%	+10%
一般管理費	1,592 (32.5%)	1,701 (32.4%)	+7%	+4%
研究開発費	294 (6.0%)	331 (6.3%)	+13%	+9%
営業利益	675 (13.8%)	817 (15.6%)	+21%	+25%
(のれん等償却除く)	851 (17.4%)	1,019 (19.4%)	+20%	+21%
経常利益	707 (14.4%)	731 (13.9%)	+3%	
純利益	385 (7.9%)	507 (9.7%)	+32%	

期中平均レート	USD	110円	120円
	EUR	139円	133円

- 売上：グローバルで、カテーテル、ニューロが二桁伸長を継続し、全体を牽引
- 営業利益：心臓血管を中心とした高収益品の売上拡大、コスト改善により粗利益増
- 経常利益：前年同期の為替差益（66億）に対し、今年度は差損（75億）
- 純利益：東京都渋谷区の土地売却益など

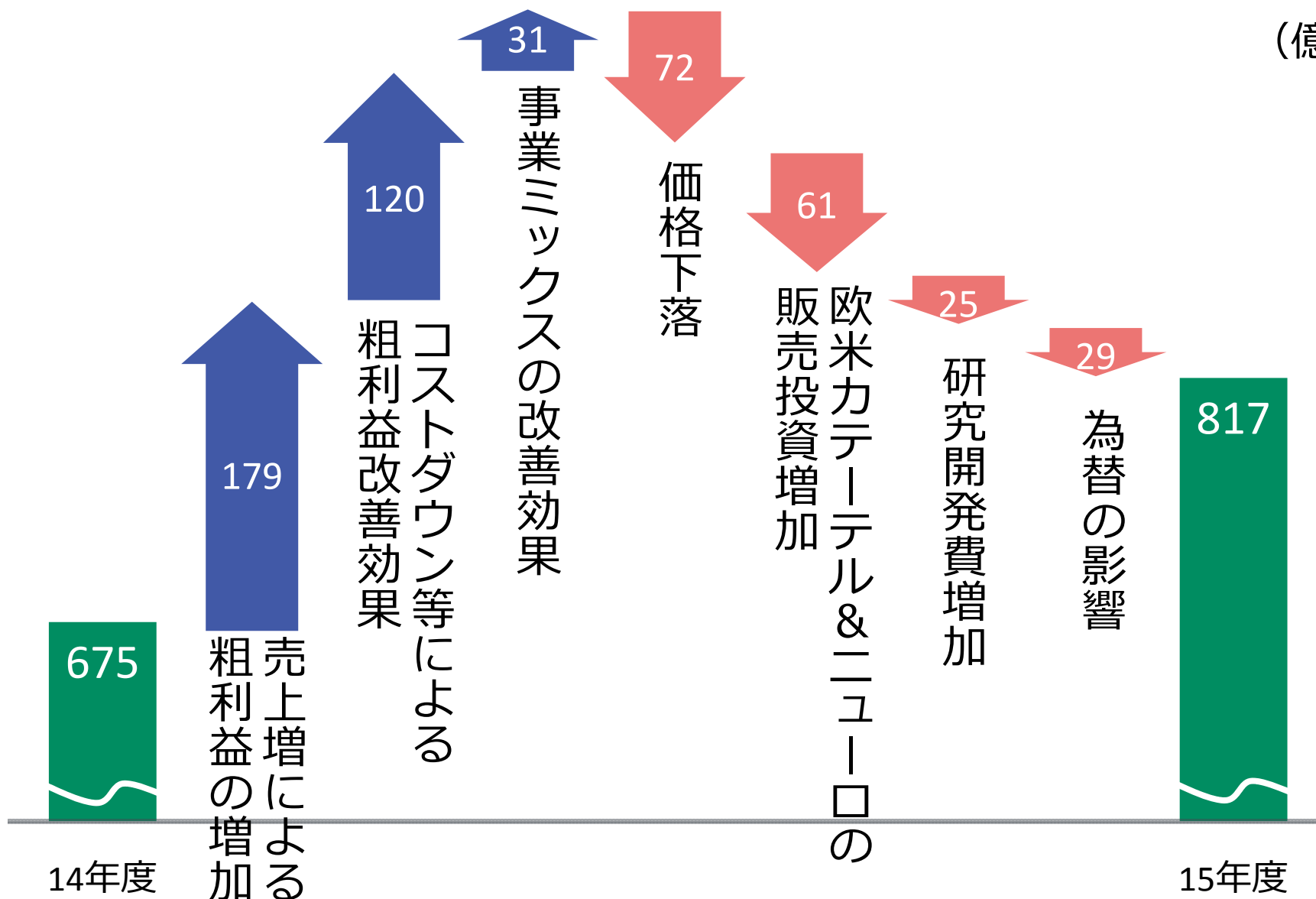
営業外・特損益・法人税

(億円)

	14年度	15年度	
営業外損益	33	-86	為替 14年度 +66 15年度 -75
経常利益	707	731	前同比 +3%
特別損益	-67	+38	14年度 欧州再編 -56 15年度 土地売却(Q2) +44
税前利益	640	769	前同比 +20%
法人税等合計 法人税等負担率	-256 40%	-262 34%	税制改正 税負担減
純利益	385	507	前同比 +32%

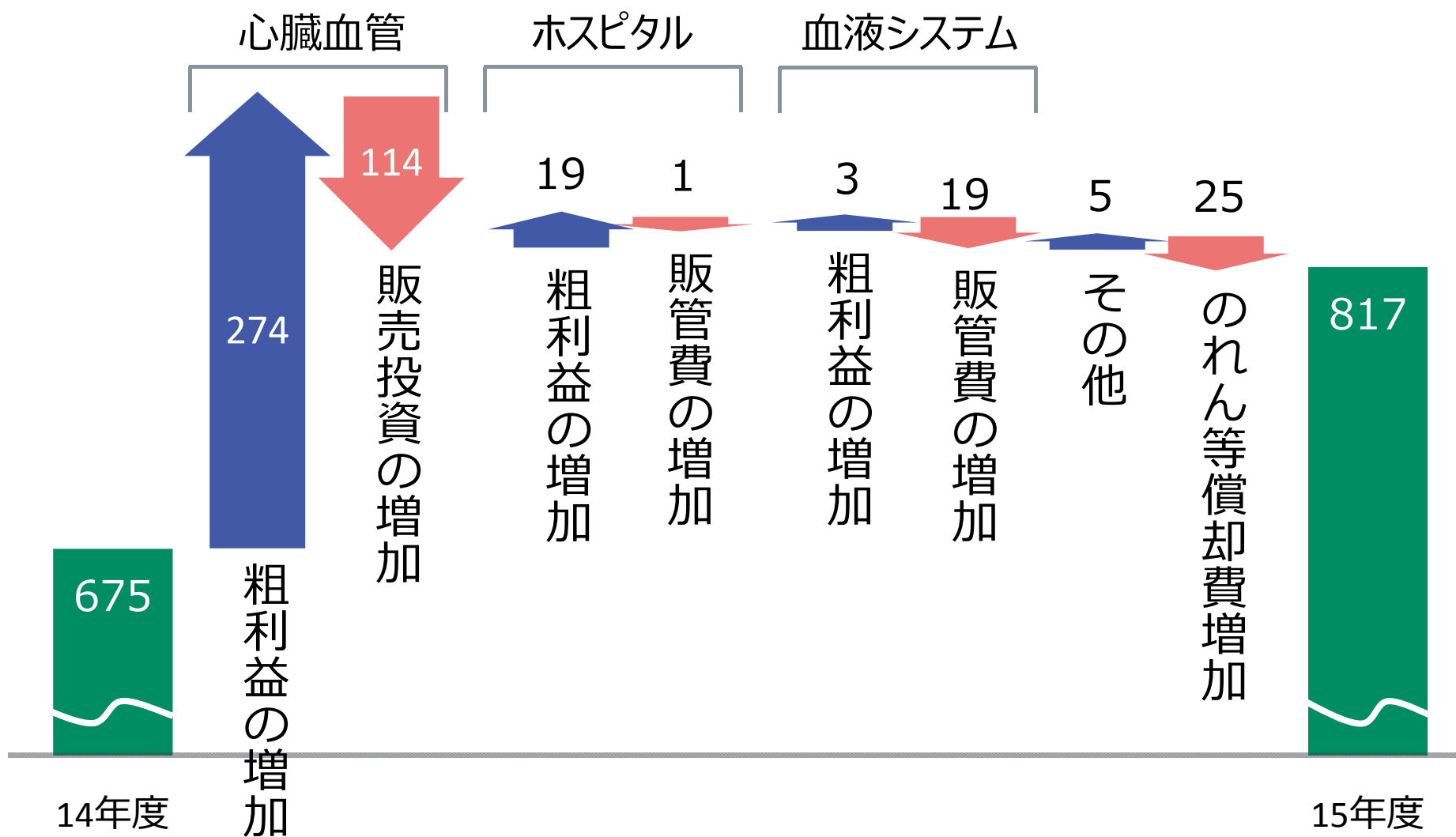
営業利益増減分析

(億円)



営業利益増減分析

(億円)



営業利益への為替の影響

- USD：ドルベースの生産・経費の増加により、ほとんど為替ニュートラル
- EUR：欧州生産縮小、ユーロ売上増加により、感応度アップ
- 新興国通貨：新興国での売上増加、直近の大幅下落により影響度拡大

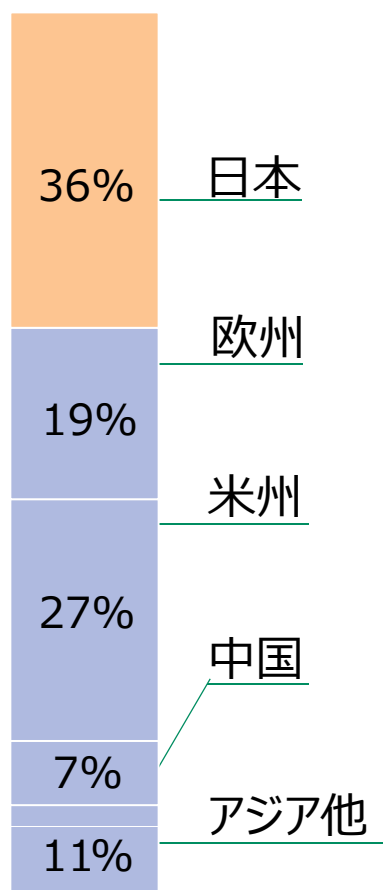
通貨別	為替の変動 (円) FY14 ~ FY15								営業利益への影響 (億円)		
	FY14Q1	Q2	Q3	Q4	FY15Q1	Q2	Q3	Q4	Q1-Q3累計	Q4	年度累計
USD	102	104	115	119	121	122	121	115	-8	+11	+3
EUR	140	138	143	134	134	136	133	127	-16	-9	-25
人民元	16.4	16.9	18.7	19.4	19.6	19.5	19.0	17.6	+18	-11	+7
その他 (アジア・中南米等)	3.2	3.2	3.5	3.7	3.7	3.5	3.4	3.2	-3	-11	-14
合計									-9	-20	-29

地域別売上高

15年度
14年度

売上高

100% = 5,250億円



売上額前年比較

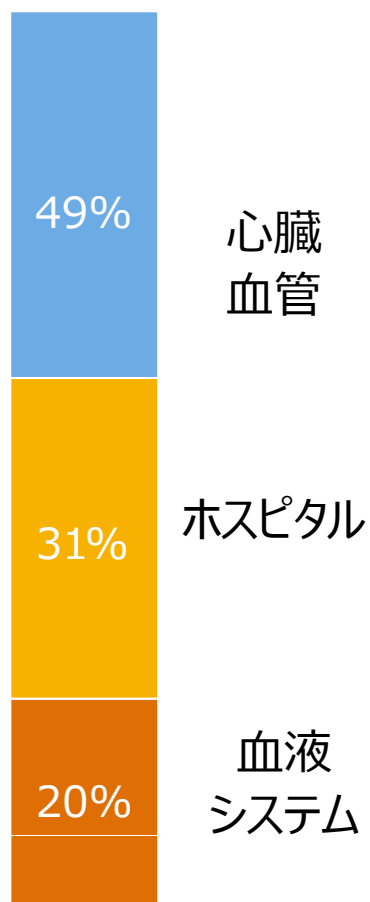
金額(億円)	伸び率(%)	コメント
() 内は為替影響除く		
1,872 1,831	2%	心臓血管全般に加え、ホスピタル（輸液システム、腹膜透析、DM製品）が牽引
1,018 1,046	-3% (2%)	ホスピタルの低収益事業縮小やユーロ安の影響を受ける
1,435 1,253	14% (6%)	血液における価格下落の影響が出るも、カテーテル、ニューロが二桁伸長を継続
332 245	35% (26%)	代理店網の見直しで、内陸部や、二級病院等のカバー率が拡大し増収
593 519	14% (10%)	心臓血管、血液ともに二桁伸長し牽引

カンパニー別売上高

■ 15年度
■ 14年度

売上高

100% = 5,250億円



売上額前年比較

金額(億円)	伸び率(%)	コメント
() 内は為替影響除く		
2,586 2,269	14% (10%)	海外カテーテルやニューロの二桁伸長に加え、グローバルで「Ultimaster」が牽引
1,614 1,615	-0% (-1%)	欧州・中南米における低収益事業縮小の影響。国内は輸液システムなどが伸長
1,050 1,011	4% (2%)	米国を中心とした新価格のマイナス影響があるものの、アフレシス治療や細胞処理システムが二桁伸長

心臓血管カンパニー：海外カテーテル、ニューロが牽引。二桁の増収増益

	14年度	15年度	増減率	主なトピック	(億円) 金額
売上高	2,269	2,586		海外を中心にカテーテルやニューロが二桁伸長を継続	+ 285億
			14% (10%)	内訳：グローバルで「Ultimaster」が牽引し、コロナリー向け治療デバイスが拡大	+ 87億
				内訳：中国での代理店網見直しで顧客カバー率が拡大	+ 75億
事業利益(率)	474 (21%)	634 (25%)	34% (24%)	海外カテーテルやニューロの売上拡大にともなう利益増とポートフォリオミックスの改善 「Ultimaster」の売上がグローバルで拡大したことによる粗利益増	

ホスピタル: 欧米・低収益事業縮小で売上横ばいも、コスト改善で収益改善

	14年度	15年度	増減率	主なトピック	金額
売上高	1,615	1,614	-0% (-1%)	日本：ポンプ含む輸液システムの伸長に加え、腹膜透析、DM製品が牽引	+19億
				中国・アジア：輸液システムが二桁伸長	+15億
				欧州・中南米における低収益事業の縮小	-35億
事業利益(率)	208 (13%)	226 (14%)	9% (10%)	国内工場を中心とした継続的な原価改善に加え、受発注・在庫の最適化、調達コスト削減 原油安にともなう材料費減	

() 内は為替影響除く

血液システム：新興国、アフェシス治療とともに二桁伸長を維持

	14年度	15年度	増減率	主なトピック	金額
					(億円)
売上高	1,011	1,050	4%	海外において、アフェシス治療や細胞処理システムが二桁伸長	+ 36億
			(2%)	中国・アジアにおいて、血液センター向け成分・全血採血とともに二桁伸長	+ 29億
				米国を中心とした先進国における新価格のマイナス影響	- 18億
事業利益(率)	185 (18%)	169 (16%)	-9% (-3%)	米国生産品の欧州販売における、対ドル・ユーロ安のマイナス影響	

() 内は為替影響除く

15年度 主なトピックス

全社

- 監査等委員会設置会社へ移行（6月）
- 総額610億円の自社株買い（8月、2月）
- 「健康経営銘柄」（1月）、「なでしこ銘柄」（3月）に選定
- 中空糸人工肺、大河内記念賞を受賞（3月）

事業

- 「Misago」が日本企業初の米PMAを取得（6月）
- 皮内投与型デバイスの国内承認（9月）
- 「ハートシート」の国内承認（9月）
- 日本で「Ultimaster」をローンチ（10月）

15年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品		地域	ローンチ	領域	製品		地域	ローンチ
心臓	DES (Ultimaster)	◎◎ ★	日	10・1発売	CV	遠心ポンプ・ディスポ (PCPS用)		日	Q4
	ステント (Misago)	★	米	Q1	血液	自動製剤化システム	★	日	FY16 予定
ペリフェラル	PTAバルーン (膝上)		欧・米	Q2					
	PTAバルーン (膝下)		日	FY16 予定					
	塞栓用ビーズ	★	欧	Q1					
脳	コイルアシスト・ステント	◎	日	Q1					
	液体塞栓剤	★	欧	Q1					
	プロテクションデバイス	★	欧	FY16 予定					



◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

16年度業績予想

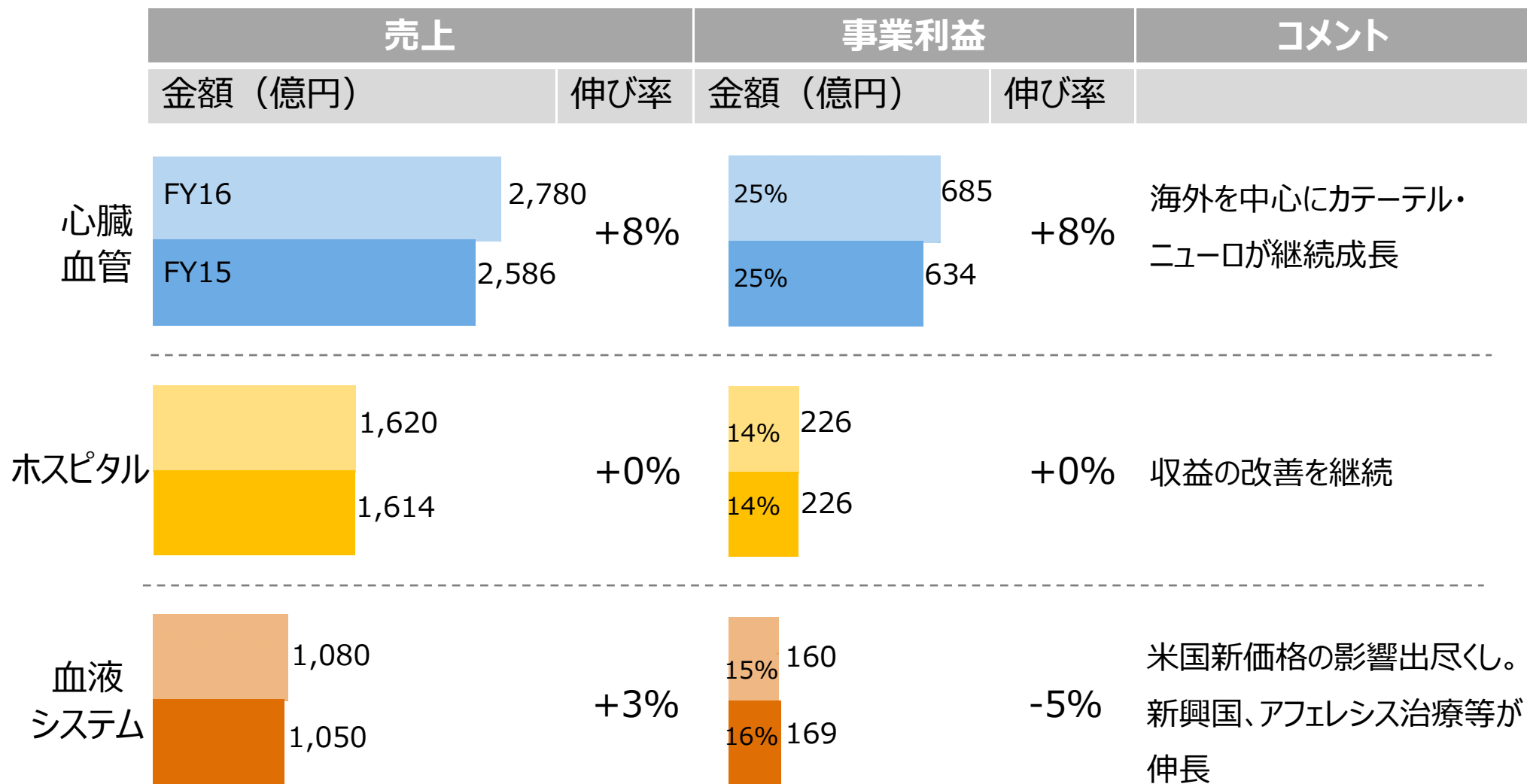
(億円)

	15年度 実績	16年度 業績予想	増減率	為替 の影響	16年度 実質 業績予想	増減率
売上高	5,250	5,170	-2%	-310	5,480	+4%
営業利益 (率)	817 (15.6%)	750 (14.5%)	-8%	-85	835 (15.2%)	+2%
経常利益	731	710	-3%	-103	813	+11%
純利益	507	525	+4%			

為替レート	USD	120円	110円
	EUR	133円	125円

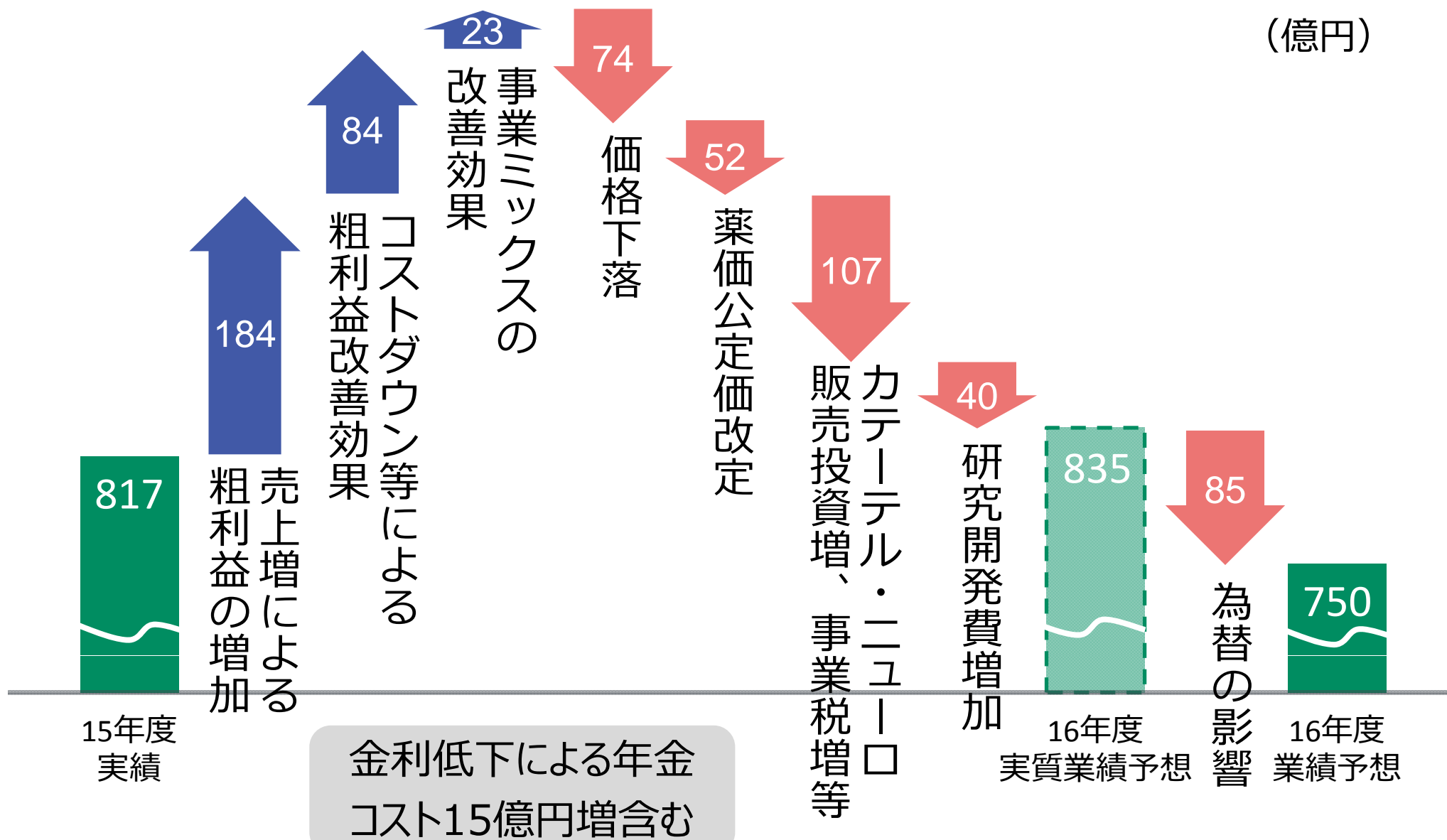
16年度末 税効果計上による税負担率低減により、純利益増加見込み

16年度業績予想（為替の影響除く）



16年度業績予想

(億円)



16年度為替の影響

(億円)

通貨別	為替の変動 (円) FY15Q1~FY16予想レート				FY16予想	売上 への影響	営業利益 への影響
	FY15Q1	Q2	Q3	Q4			
USD	121	122	121	115	110	-136	+19
EUR	134	136	133	127	125	-39	-23
人民元	19.6	19.5	19.0	17.6	17.0	-33	-15
その他 (アジア・中南米等)	3.7	3.5	3.4	3.2	3.1	-102	-66
合計						-310	-85

例) タイ・パーツ

為替対策：事業ポートフォリオ見直しによる収益力向上

■ 高収益事業へシフト

例) 欧州ビジネス構造 (売上構成比)

(億円)

	FY14		FY16	売上増減
心臓血管	62%	▶	66%	+29
ホスピタル	12%		8%	-40
血液システム	26%		26%	+2

■ 低収益事業の見直し

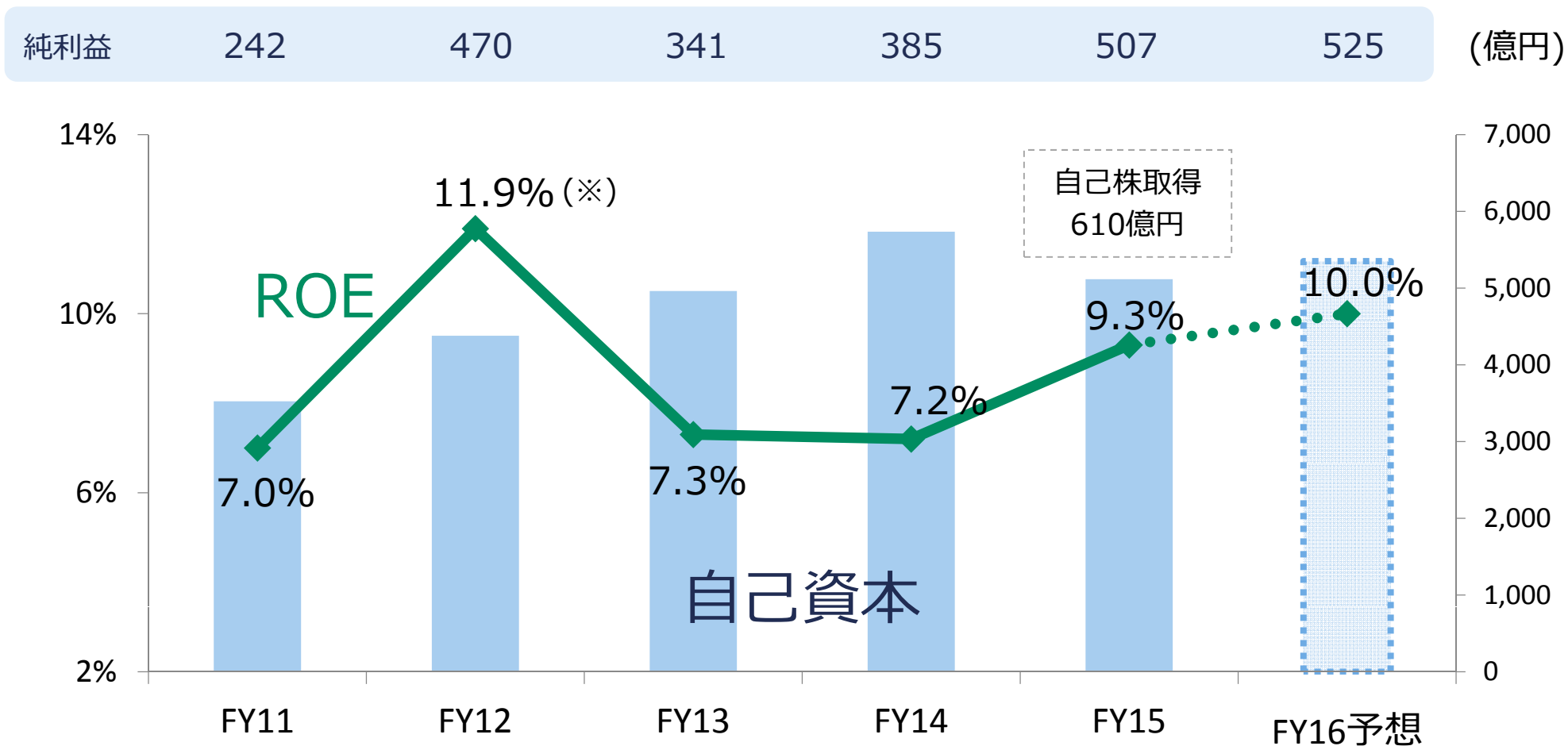
例) 中南米 ホスピタル・基盤医療器事業

FY16 (FY14比)

- ・ 売上 35%減
- ・ 利益 35%増 (利益率13%ポイント改善)

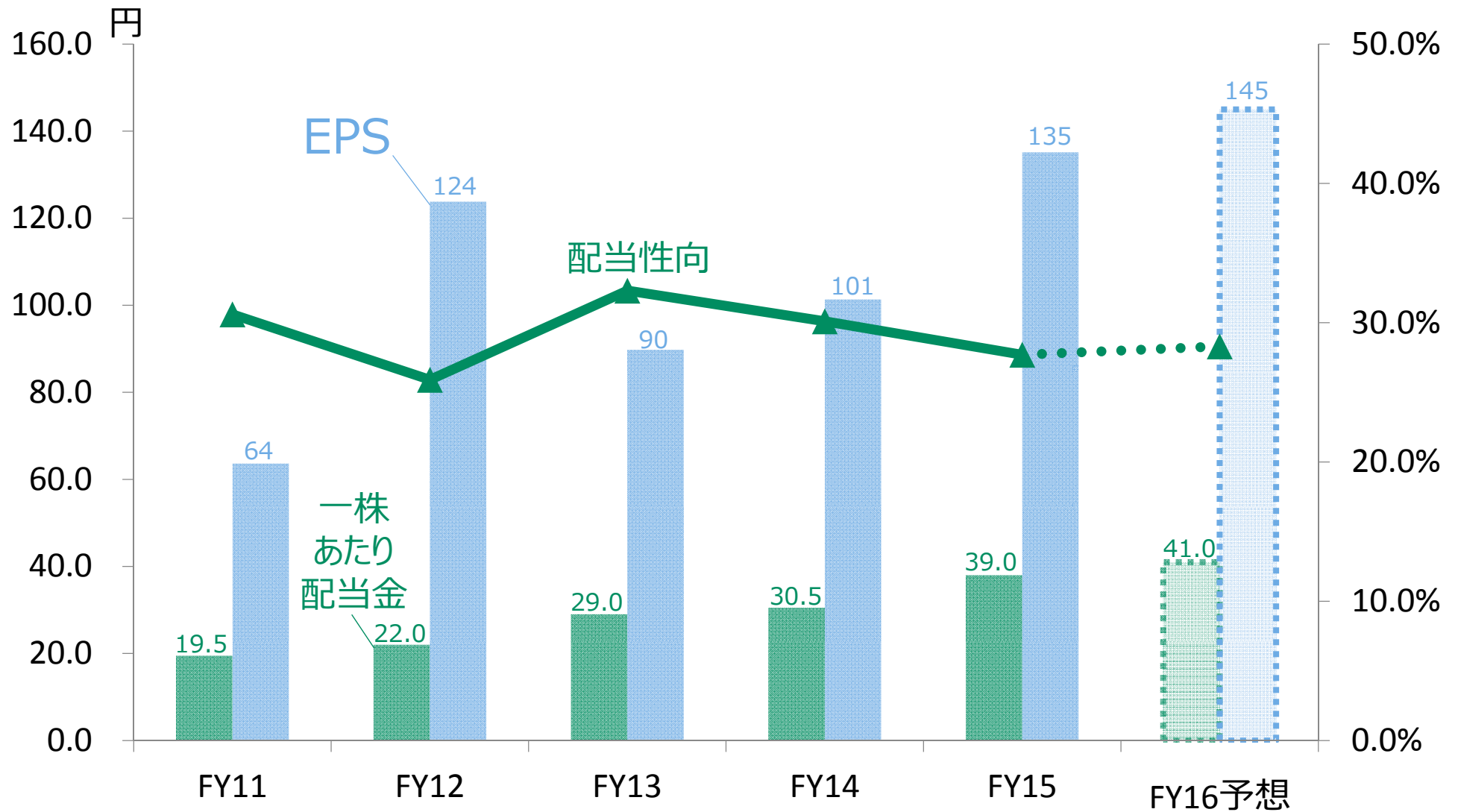
ROE推移

■10%台へ向上



(※)TBCT再編により法人税等減少

配当およびEPSの推移

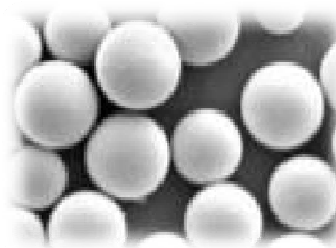


16年度パイプライン製品

領域	製品		地域
心臓	DES (Ultimaster)	◎ ★	仏
	DES (Ultimaster) 4.0mm品種追加	◎ ★	日
イメージング	IVUS	◎ ★	日
ペリフェラル	PTAバルーン (膝下, RX/OTW)		日・米・欧
	PTAバルーン (膝上・下両用, RX/OTW)		日・米・欧
	PTAバルーン (膝上, RX/OTW)		日・米・欧
脳	プロテクションデバイス		欧
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ (Quirem)	★	欧

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

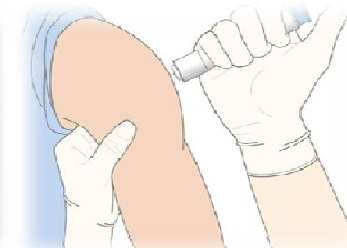
領域	製品		地域
CV	遠心ポンプ装置		亜
D&D	皮内投与デバイス	★	日
	癒着防止材	★	日
DM	血糖計 (フィットスマイル)		中
血液	自動製剤化システム	★	日
再生	ハートシート	★	日



放射線塞栓ビーズ (欧)



「ハートシート」 (日)



皮内投与デバイス (日)

参考資料

事業別 地域別売上高と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	516 (+7%)	2070(+11%)	667 (+5%)	894(+11%)	264(+30%)	246(+13%)	2586(+10%)
うちカテーテル※	396 (+7%)	1633(+14%)	533(+6%)	652 (+16%)	251(+31%)	197(+17%)	2029(+13%)
ホスピタル	1242 (+2%)	372 (-7%)	93 (-24%)	83 (-12%)	19 (+11%)	177 (+6%)	1614 (-1%)
血液システム	115 (-9%)	936 (+4%)	258 (+6%)	457 (-1%)	49 (+14%)	171 (+11%)	1050 (+2%)
合計	1872 (+2%)	3378(+7%)	1018 (+2%)	1435(+6%)	332 (+26%)	593 (+10%)	5250 (+5%)

※ニューロバスキュラー事業含む

() 内は為替影響除く対前年同期伸長率

販管費

(億円)

	14年度	15年度	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	705	760	+55	+ 8%	+5%
販促費	160	172	+12	+ 8%	+6%
物流費	110	110	-0	- 0%	-1%
償却費	251	275	+24	+10%	+3%
その他	366	384	+18	+ 5%	+3%
一般管理費計	1,592 (32.5%)	1,701 (32.4%)	+109	+ 7%	+4%
研究開発費	294 (6.0%)	331 (6.3%)	+37	+13%	+9%
販管費合計	1,886 (38.5%)	2,032 (38.7%)	+146	+ 8%	+5%

() 内は対売上高%

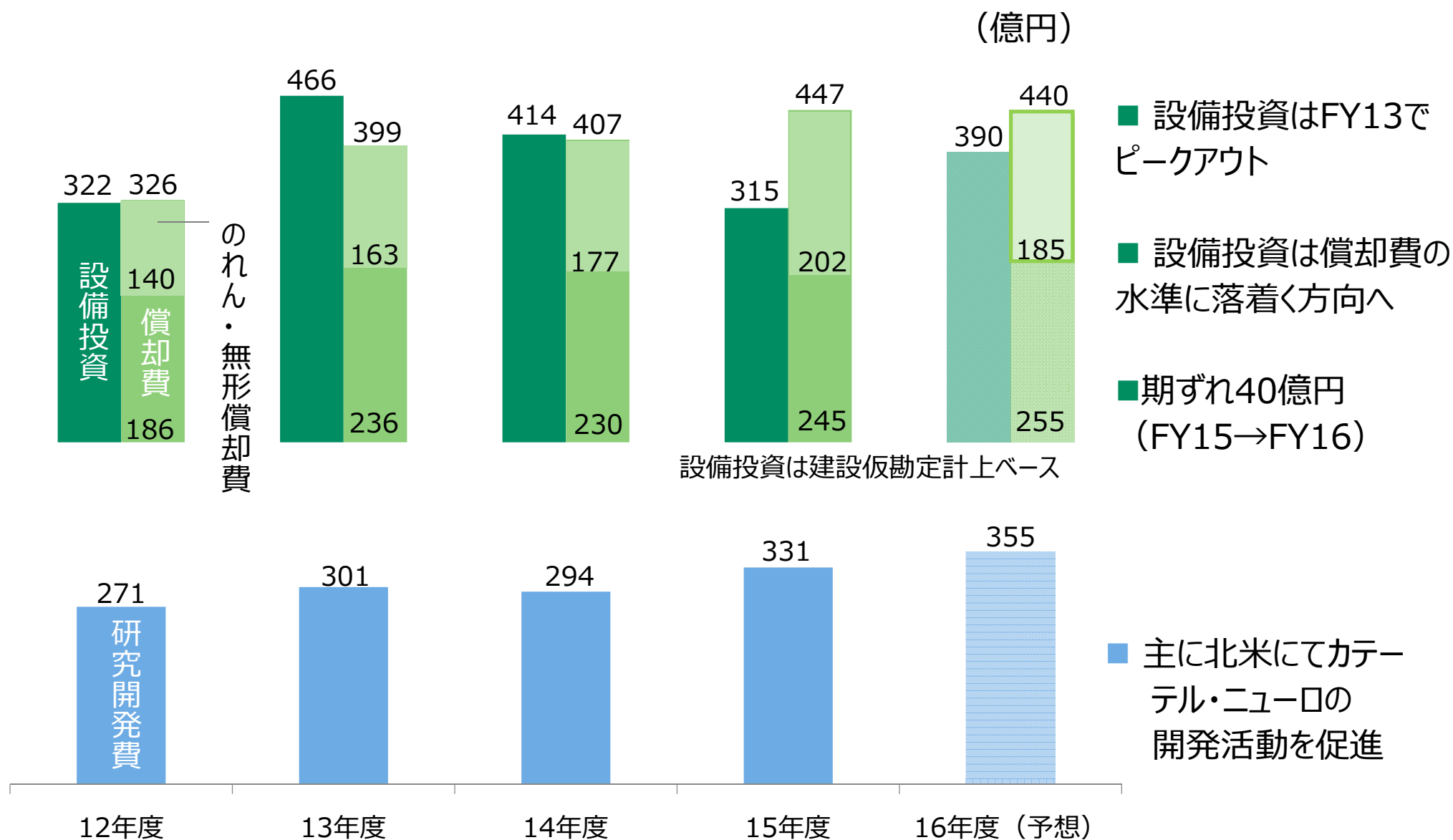
四半期の動き

(億円)

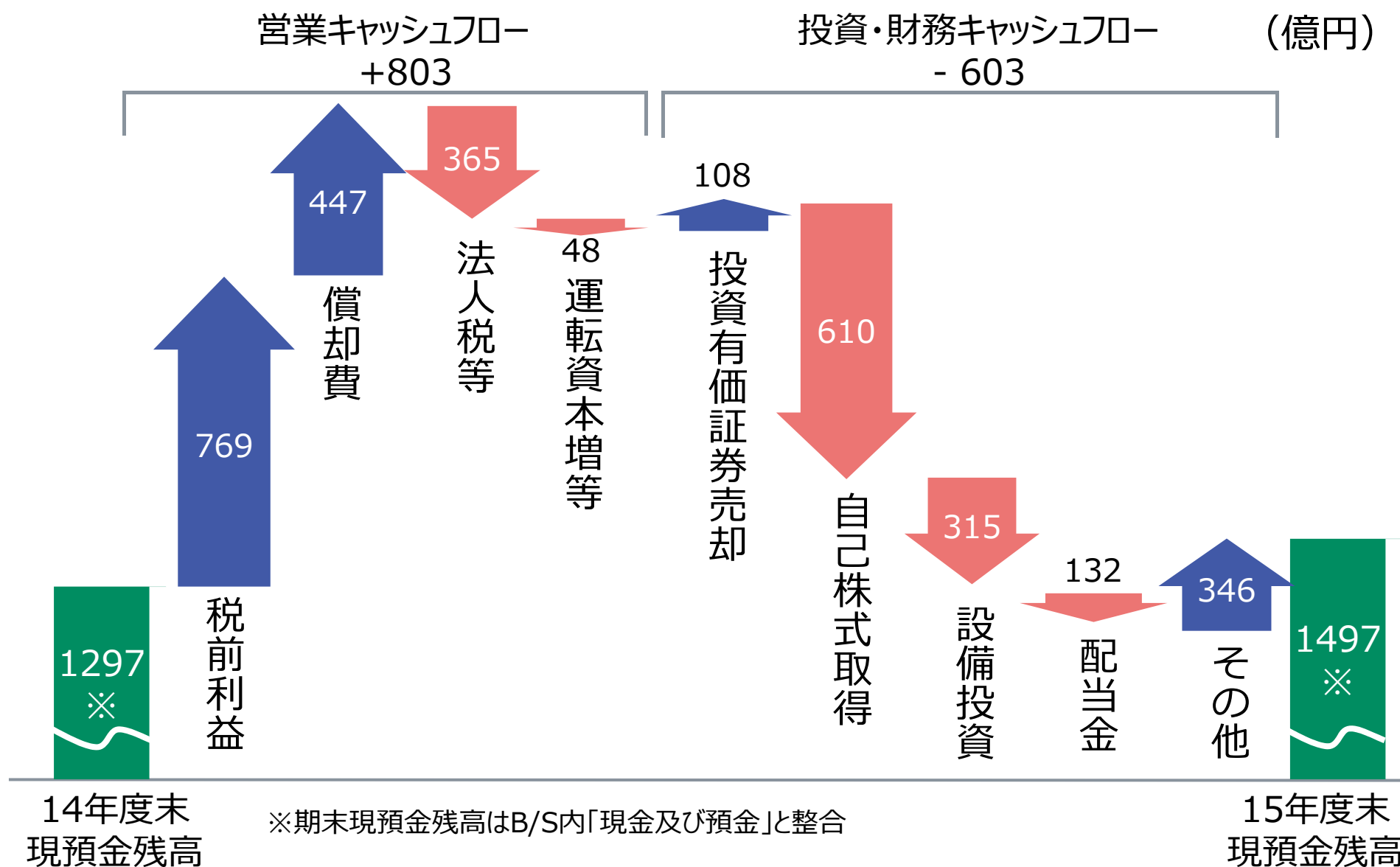
	14年度Q4 (1-3月)	15年度Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
売上高	1,263	1,287	1,305	1,368	1,290
粗利益	654 (51.7%)	690 (53.7%)	704 (53.9%)	753 (55.0%)	703 (54.4%)
販管費	424 (33.5%)	417 (32.5%)	427 (32.7%)	429 (31.3%)	428 (33.1%)
開発費	84 (6.7%)	79 (6.1%)	80 (6.1%)	74 (5.4%)	99 (7.7%)
営業利益	146 (11.5%)	194 (15.1%)	197 (15.1%)	250 (18.3%)	176 (13.6%)
のれん等償却 除く営業利益	194 (15.3%)	245 (19.1%)	248 (19.0%)	301 (22.0%)	225 (17.4%)

四半期	USD	119円	121円	122円	121円	115円
平均レート	EUR	134円	134円	136円	133円	127円

設備投資と研究開発費



キャッシュフロー



為替感応度

(億円)

	USD		EUR
	のれん等償却 除く	のれん等償却 含む	
売上高	14	14	5
営業利益	0	-2	3

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。